

オンライン・無料！

高生研全国フォーラム

全国の教員が“現場の今”を持ち寄って…

12月12日(土)

《第1部 語り合おう!》「学校のこと、高生研のこと」 15:30~17:00

《第2部 公開研究会》 コロナ禍での取り組み実践報告 19:00~21:00

《公開研究会》 溝口 幾子 (埼玉県 私立高校)

『コロナ禍だからこそ～改めて文化祭とは何かを考える』

私は今まで文化祭で巨大な企画にチャレンジすることで、HRの関係性が構築され、生徒それぞれの良さが引き出されると思っていた。確かに危機的な状況になれば、関係性は深まるが、もう一歩先に進めるためには、取り組みの中に、もっと文化的な内容を盛り込む必要があったのではないかと感じている。コロナ禍での文化祭は、改めて文化祭の意味を再確認するものとなった。

臨時休校中、新クラスとしてコミュニケーションがままならない中、どんな工夫で、担任の思いを伝えHRの関係性を耕していったのか？
また、それがどのように行事づくりにつながっていったのか？
ぜひ、みなさんと話合っ、深めあえたらと思います。
職場の方々とお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください！（大学生も大歓迎）

申込先…高生研のHP

<https://kouseiken.jp> または
dodoan7@gmail.com

(担当の安藤までメールで)

12月9日(水)までにお申し込みください。

事前に研究会用資料とZOOMの招待メールをお送りいたします。

主催：全国高校生活指導研究協議会